

## 平成24年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

### 1 開催日時

平成24年9月5日（水） 15:30～17:05

### 2 開催場所

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

### 3 出席者

(1) 委員11人

(2) 事務局7人（総務局長、総務部長、情報システム課長、情報システム課4人）

### 4 会次第

(1) 第三次鹿児島市地域情報化計画策定の考え方と第二次計画の総括

(2) 第三次鹿児島市地域情報化計画の骨子

### 5 議事の概要

別紙のとおり

発言者	議 事 内 容
事務局	<p><b>事務局から資料の説明</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三次鹿児島地域情報化計画策定の考え方と第二次計画の総括について、事務局から説明。</li> </ul>
委員長	<p><b>質疑応答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次計画については前回もある程度データが出ていましたが、今回は達成度で分類をしている。第二次計画ではブロードバンド、地域間格差などを議論したが、第三次計画では防災、災害などが市に課せられた課題として大きく取り上げられている、また、利用時のセキュリティに関するものが取り上げられている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に資料を読んだが、第二次計画で未実施となった具体策では、今後取り組まないというものもあった。新規の取り組みはあるのか明確にして欲しい。また、第二次計画の高齢者への対策から全世代に向けた情報弱者への取り組みに変化していて、よく考えていると思った。また、Facebook に関しては、一つの具体的なサービス名を記載するのはどうかと思ったが、武雄市などの事例もあり、鹿児島市も積極的に取り組むという意味で宣言していると受け取った。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災に関しては昨年東日本大震災があり、第三次計画に盛り込むのは良いことだと思う。県や他市の防災計画と比較してみたが、鹿児島市は他と比べて充実していた。できれば NTT など他の機関との連携も検討してはどうかと思う。</li> </ul>
事務局	<p>⇒ご質問のあった新規計画に関しては参考資料 6 が参考になると思う。 第三次計画の骨子の参考として配布したもので、第二次計画から継続する具体策と第五次総合計画の実施計画から地域情報化に関連すると思われる具体策をまとめたもの。</p>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画から新しい施策も追加されると考えてよいか。</li> </ul> <p>⇒新規の具体策はこれから検討するが、参考 6 に記載のある具体策は実施計画から暫定的にピックアップしている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者対策には継続的に取り組むとのことだが、講座の定員が 20 名程度では少ないのではないかと思う。第三次計画に向けてスマートフォンの使い方など高齢者が活用できるように広げていかないといけないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら講座に出向くほどのことではないと思っている人向けに、町内会などに出前で講座を実施してはどうか。また、講座の対象人数は把握しているか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の南日本新聞に霧島市がタブレットを導入したという記事があったが、鹿児島市の取組はどうか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒鹿児島市では導入の検討まで進んではいませんが、今後、検討するかもしれません。</p>
事務局	<p>⇒講座については、公民館などでのパソコン講座が多く、年間では 100 講座程度は実施していると思う。市民意識調査では、5 年前に比べると 60 才代と 70 才代の方の利用率は倍以上に増加している。ただし、全国と比較するとまだ低いいため、引き続き取り組む必要があると考えている。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで高齢者への普及を推進してきたが、第三次計画では各世代に対して安心に ICT を活用するための施策を取り上げており、高齢者への対策は一区切りついたと考えてよいか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒高齢者への利用促進は必要だと思うが、新しい情報通信機器が普及し始め、若い世代を含めて不安に感じていることへの対策が必要だと考え、重点取組項目としている。</p>
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「高齢者の利用促進を図りつつ」と一言入れるかどうかだと思う。</li> <li>・ 高齢者の定義がよく分からない。団塊の世代が退職年齢を迎え地域に戻ってくると、高齢者の利用率は上昇すると思う。一番問題なのは情報弱者への対策ではないか。また、ここで掲げられているセキュリティなどの対策は進めるべきだと思う。それから、市が主導で講座を開設するのではなく、ボランティアが講座を開設し、市は場所などを提供すればよいのではないか。無理に市で講座を開設する必要はないと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者から情報弱者という区切りに変えたほうが良いという意見が出ている</li> </ul>

委員	が、いかがですか。
委員長	・ 携帯やスマートフォンが使えず、防災情報が受けられないような市民に教育できるような人が必要だと思う。
副委員長	・ パソコンに慣れた団塊の世代などを中心に、ボランティアとして支援していけばよいのではないかという意見が出ています。
副委員長	・ ICT についての弱者として取り上げるべきだと思う。若い方でも ICT が苦手な人はいるため、その切り口で捕らえたほうが良いと思う。
事務局	・ 一部具体策の達成度で未実施があり、引き継がないということになっているが、それで本当にいいのか。「マルチペイメントネットワーク対応」と「バスロケーションシステムの導入」については第二次計画の考え方では実現が難しいと思うが、切り口を変えて継続する必要があるのではないか。予算などの制約があるのは分かるが、継続する必要があるのではないか。市民がホームページで施設を予約することは当たり前だが、利用料金の支払に困っている。支払い方法を統一した方がいいのではないか。是非、今後も検討していただけないか。
事務局	⇒バスロケーションシステムに関しては、費用対効果として難しく、民間事業者との合意形成が必要で見通しが立たない状況。交通局として引き続き検討するが、計画として取り上げられる段階ではない。
事務局	⇒施設利用でマルチペイメントを利用すると、追加料金や払い戻しに関して現場での柔軟な対応が難しい状況。また、テニスコートの利用料は1時間300円だが、マルチペイメントを利用すると手数料が約30円必要になるなど負担があるため、実現が難しいと考える。
副委員長	・ 他の自治体で実現できているのに鹿児島市で実現できないのは、技術的な問題ではなく体制的な問題なのではないかと思う。
事務局	⇒施設予約に関するマルチペイメント利用の事例は把握していませんが、鹿児島市としては日本マルチペイメントネットワーク推進協議会に加入し、税目によっては対応している。
委員長 事務局	・ 再度検討していただけるか。 ⇒積み残しの事案に関しては担当課が達成の見込みがないと判断したものであるが、第三次計画の施策に関しては今後検討するため、現段階で継続・終了が確定しているわけではない。形を変えて実現できるかもしれないので、再度検討します。
事務局	⇒高齢者への対策に関しては継続的に進める中で、今後は全体の底上げをしようという考え方。ボランティアに関しても検討する。また、受講者の指導員への活用も市民参画・協働という観点から検討させてほしい。
副委員長	・ 既存のマルチペイメント協議会のやり方にこだわる必要もないと思う。また、バスロケーションに関しても iPhone を運転手に持たせ、位置情報を収集するなど、コストを抑えて実現する方法はあると思う。
委員	・ 資料2の「5. その他(2)」に第三次計画の位置づけが記載されているが、第三次計画では第五次総合計画の目標達成に貢献できるかが一番重要だと思う。
事務局	<b>事務局から資料の説明</b> ・ 第三次鹿児島市地域情報化計画の骨子案について、事務局から説明
委員長	<b>質疑応答</b> ・ 情報関連技術の進歩が早いので、これまでは総合計画とは別に情報化計画を推進し、総合計画に当てはめていくという手法をとっていたと思う。今まではそれでよかったと思うが、何か意見はありますか。
委員	・ 情報化はあくまで手段であり、必ずしも情報化という手段を使わなくても良いところはあると思う。具体策の検討においては、情報化の必要性和施策の関連性を明確にして欲しい。
委員長 委員	・ 次回の資料では総合計画からのアプローチをしっかりとって欲しい。 ・ 今日の資料は良くまとまっていると思う。高齢者に関しては情報弱者がいいのではないかという意見があったが、元気な高齢者は特定の場所に集まって講座を受けることができるが、自宅から動けない高齢者もいると思う。鹿児島市は高齢者の独居世帯が多いことも想定されるが、孤独死をさせないような ICT 利用はないのか。また、社会保障カードが検討されているが、利便性は向上する

委員	<p>が悪用される可能性があるので、高齢者への教育が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市立病院に電子カルテが導入されるが、データを外部保存しないと災害時の対策としてバランスを欠くのではないか。制度的には一定の条件が整った施設であれば外部保存可能だが、条例などで外部保管できないということはないか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒高齢者対策の件ですが、総合計画でも高齢化対策を取り上げています。具体的な取り組みは今後庁内で検討しますが、ご指摘頂いた事項を検討課題として進めたいと思います。</p>
事務局	<p>⇒外部保存に関しては、業務継続に関連して外部に保管することが考えられます。どのような制限があるかは関係部局と情報共有し、課題の確認を行います。</p>
事務局	<p>⇒条例上の制限はありません。鹿児島市の住基データは大震災を受けて東京にバックアップしていますが、病院も同じ扱いだと思います。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ICT を活用した高齢化対策」に意見が集中しているので、ご検討いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 孤独死の対策に関しては、ICT を活用していく必要があると思う。ICT の教育のあり方がこれまでビジネスライクなものが多かったが、弱者をひきつける講座を開設する必要があると思う。</li> </ul>
事務局	<p>⇒ICT 利活用のための講座は引き続き実施します。内容については情報セキュリティ、高齢者向けの視点など充実させる必要があると考えていますので、関係部署と検討していきます。また、孤独死対策については、ICT を活用した対策があるか関係部署と検討します。</p>
事務局	<p>⇒孤独死対策としては在宅介護支援システムがあります。ボタンを押すと消防につながる仕組みで、必要な方には無料で貸与しています。ICT を活用したそれ以外の方法については、今後検討したいと思います。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビ電話で高齢者の家庭に接続して、コンシェルジュサービスを提供しているところもあるらしい。カメラを活用して何かいい方法があれば検討して欲しい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の施設にインターネットのフリースポットを導入していますか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒IT 体験のための施設には誰でも利用できるパソコンを設置しています。また、自前のパソコンを持ち込んでインターネットを利用できる環境も整備されています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者は高い回線使用料を支払ってまで利用しようとならないのではないか。市の施設に利用できれば便利さがわかり、回線を引くためのきっかけになるのではないか。日常で利用できる場所で回線を提供することで定着していくのではないか。利用環境の整備ができればよいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害発生時の緊急通報（エリアメール）はどこが送信しているのか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒市が携帯電話業者と連携して配信しています。昨年 12 月から情報提供を開始しています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本商工会議所では全員にタブレット端末を配ったが、ほとんど使われていない。巡回指導する中で使える場所が限られている。ハード面の環境整備を促すような施策が必要ではないか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒第三次計画では観光施設の周辺に wifi を整備する計画を盛り込むことを検討したいと思っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校における情報教育の充実」では子どもたちに安心な ICT の使い方を教えるのか。親への教育が必要だと思う。</li> </ul>
事務局	<p>⇒教育委員会では ICT の安全な使い方に関する教育を実施しているが、今後も引き続き実施します。親に対しても利用方法に関する注意喚起しています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校ではパソコン、携帯電話に関する利用方法やフィルタリングの必要性などについて教育している。警察とも連携して行っている。</li> </ul>
事務局	<p>⇒教育委員会だけではなく、警察や消費生活センターなどと連携しながら対応する問題だと思っています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ QR コードが観光施設の案内板に印刷されているが、案内板のある場所で携帯電話の電波が悪く使えないことがある。対策する必要があると思う。</li> </ul>
事務局	<p>⇒観光施設の周辺への wifi 整備などを通じて、通信環境を改善したいと考えています。</p>
事務局	<p>⇒携帯電話の不感地域に関しては市民からの意見を携帯電話会社に伝えています。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿児島市のホームページにはスマートフォン向けのページはあるか。パソコン向けのページはスマートフォンで見るとは小さい。市のホームページを見る方も必要な情報は限られていると思うので、コンパクトにまとめたページを作りたい。</li> </ul>
事務局	<p>⇒現在スマートフォン向けのページはないが、パソコン向けのページをスマートフォンで閲覧することはできます。ホームページのリニューアルの際に検討します。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「9 地域コミュニティの形成」では「地域コミュニティの形成がなされた」と評価しているが、何を以て形成されたとしているのか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒民間事業者が地域 SNS を構築しているため、達成していると整理しました。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿児島市の地域 SNS が十分に拡充しているという認識でよいか。</li> </ul>
事務局	<p>⇒Yahoo など全国的なサービスではなく、鹿児島独自の SNS が構築されています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どれくらい活用されているのかわからないと、十分であると判断できないのではないか。第三次計画でも「地域コミュニティ連携組織ポータルサイトの開設・運営」を取り上げているが、具体的な使い方、活用方法が想定できない。孤独死などの高齢者対策や地域 SNS などの取り組みが連携していないように思える。</li> </ul>
事務局	<p>⇒当初は市主導で情報発信のポータルサイトを構築する必要があると判断して計画を策定しましたが、民間のポータルサイトがサービスを開始したため、市が主導する必要がないと判断しています。第三次計画の施策に関しては、地域間コミュニティの活性化に繋がる計画となる予定です。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地域の特性に応じた柔軟な情報発信を検討していただきたい。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートフォンではwifi を利用した通信にはフィルタリングの義務がない。子どもがスマートフォンを欲しがる理由になっており、親の知識が子どもたちの知識についていけない。「ICT の安心・安全な利活用の推進」で情報セキュリティに関して積極的に取り組む姿勢を出していただければよいと思う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は、第二次鹿児島市地域情報化計画の総括と第三次計画の基本的な考え方について、委員の皆さんから、いろいろとご意見等をいただきましたが、時間的な制約もあり、言い足りなかった点などもあると思います。他にご意見等ございましたら、事務局の方にメール等でご連絡いただければと思います。</li> </ul>
以上	